

わたしのふるさととは、兵庫県但馬。
日本海に面した山がちな地域で、冬になると2mからの雪に埋もれるところです。

わずかばかりの田畑しかない山村で、毎年子牛を生ませて現金収入を得ることが、この農村では、昔からとても重要なことでした。

但馬の山々には、豊かな野草が茂り、水のきれいな溪流があります。夏の間、村の共同放牧場に昼間は放され、お母さん牛とともに、一日中自由に山をかけまわって、わたしは育ちました。

(熱田桂也・堀晃一郎・奥田達也)

